

## I 主題設定の理由

本学級の生徒は、意欲的に授業に取り組むことができる。世界のさまざまな地域について学習した際は、提示された雨温図や衣食住に関する資料の読み取りに力を入れ、多くの生徒が気付いたことや考えたことを発表することができた。また、ヨーロッパ州の学習を行った際は、イギリスの EU 離脱を取り上げた新聞記事が提示されると、「国民投票の結果が僅差だ。EU 加盟にはメリットとデメリットがあると思う」と考え、その後の調べ学習では、教科書や資料集、タブレット端末を使って調べていくことができた。しかし、EU 加盟によるメリットやデメリットについては調べて理解することができたが、その後は新たな疑問や課題を見出せず、追究する姿は見られなかった。その理由として、①ヨーロッパは日本から遠く離れた地であり、EU は生徒にとって身近に感じられない組織であったこと②生徒が主体的に追究したいと考えることができない単元展開であったこと③生徒の思いや考えに沿わず、教師が設定した課題であったこと、などが考えられる。

今回の学習指導要領の改訂に伴い、学習評価が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に再整理された。この中で、「主体的に学習に取り組む態度」については、粘り強く学習に取り組むだけではなく、自分の学びの方向性が学習の目標の達成に向かっているかどうかを認識し、取り組み方を修正するなどの自己調整を行いながら取り組むことが必要とされている。この「主体的に学習に取り組む態度」の育成は喫緊の課題でもある。

以上のことから、生徒が世界の諸地域を身近に感じ、自らの学びを調整しながら主体的に追究できるようにと願い、本単元を設定した。

## II 研究の構想

### 1 目指す生徒像

本研究を進めるうえで、次のような目指す生徒像を設定する。

- 1 世界の諸地域を身近に感じる生徒
- 2 自らの学びを調整しながら主体的に追究する生徒

### 2 研究の仮説と仮説に迫る手だて

目指す生徒像をふまえ、本研究の仮説と仮説に迫る手だてを次のように考えた。

【仮説1】「世界の諸地域を身近に感じる生徒」を実現するための仮説

現地の物や現地の人などの本物と出合う場や、メキシコと日本とのつながりを見つける活動を設定すれば、生徒は世界の諸地域を身近に感じ、主体的に課題を追究することができるだろう。

(1) 仮説1に迫る手だて

○現地の物や現地の人などの本物と出合う場を設定する(手だて①)

日本で販売されている東洋水産株式会社の商品「マルちゃん正麺」は、生徒にとって身近な日本の商品であり、食べたことがある生徒やマルちゃんのロゴマークを知っている生

徒は多い。そこで、メキシコで販売されているマルちゃんのラーメンと出会う場を設定する。生徒にとって身近な日本の商品がメキシコで販売されていることを知り、世界の諸地域を身近に感じ、日本とメキシコのつながりについて主体的に追究するだろう。また、メキシコで人気の日本の商品や、それらがメキシコで受け入れられている理由について追究した後、現地の人と出会う活動を設ける。そこで、生徒の追究について講評をもらったり、メキシコと日本のつながりの実際を話してもらったりすることで、世界の諸地域を身近に感じるだろう。

○メキシコと日本とのつながりを見つける場を設定する（手だて②）

メキシコでマルちゃんのラーメンが国民食となった背景やメキシコで人気の日本の商品、さらに、メキシコで日本の物が受け入れられている背景についてタブレット端末を活用した追究の場を設けた後に、発表の場を設ける。そうすることで、見つけることができなかった新たなメキシコと日本のつながりを発見し、世界の諸地域を身近に感じるだろう。

【仮説2】「自らの学びを調整しながら主体的に追究する生徒」を実現するための仮説  
生徒の思いや考えを基に学習課題や学習問題を設定し、追究の場を設ければ、生徒は自らの学びを調整しながら主体的に追究することができるだろう。

（2）仮説2に迫る手だて

○振り返りをまとめた座席表から学習課題や学習問題を設定する（手だて③）

毎時、授業の終わりに学習の振り返りを書く場を設定する。生徒の振り返りを座席表にしてまとめ、次時の開始時に一人一人に配付する。自分と仲間の振り返りを見て、最も追究したい課題（学習課題）を一人一人が考える場を設定する。その後は、全員で共通の課題（学習問題）を決定する。このように、生徒の思いや考えを基に学習課題や学習問題を設定することで、生徒は主体的に課題を追究することができるだろう。

○タブレット端末を活用して追究する場を設定する（手だて④）

生徒の思いや考えを基に設定した学習課題や学習問題について、タブレット端末を活用する場を設定する。そうすることで、生徒は、自らのペースで自分の関心事について主体的に追究することができるだろう。

### 3 抽出生徒Aの実態と期待する姿

生徒Aは、係や委員会の仕事は、熱心に取り組むことができる。後期は議長として、学級代表をさまざまな場面で助ける姿が見られた。誠実であり、場に応じて正しい言動をすることができる。口数は多くないが、多くの仲間から信頼されている。学習についても、授業は真剣に取り組むことができ、与えられた課題について黙々と調べたり、考えたりする姿が見られる。一方で、その学習に満足してしまうのか、自ら課題をもち、自ら追究していく姿は見られない。

本単元の学習を通して、生徒Aに主体的に追究する姿を期待したい。そのために、生徒

A が主体的に追究したいと考えるような単元展開の工夫、生徒 A の思いや考えに沿った学習課題や学習問題の設定により、自ら課題をもち、自ら追究する姿を期待したい。

#### 4 検証の方法

生徒 A の発言記録と振り返りから仮説及びにその手だての有効性を検証する。上記の手だてを講じることにより、生徒 A は世界の諸地域を身近に感じているか、自らの学びを調整しながら主体的に追究しようとしているかについて検証していく。

#### 5 単元構想図

段階	生徒の思いと考え	手立て
出会う・見つける	<p>このラーメンはどこの国の商品なのだろう</p> <p>1限</p> <p>よく見る「MARUCHAN」とロゴマークが書いてある。日本で売っているのだろうか。</p> <p>パッケージにメキシコと書いてある。日本のマルちゃんメキシコで売られているのはなぜだ</p> <p>アルファベットだから、英語なのか。でも、見たことがない記号が書いてある。</p>	<p>メキシコを身近に感じ、主体的に課題を追究できるようにメキシコで販売されているマルちゃんとお出合う場を設定する(手だて①)</p>
	<p>日本のマルちゃんがメキシコで売られているのはなぜだろうか(学習課題①)</p> <p>日本のメーカーがなぜ、海外に工場を出して作っているのか(学習課題②)</p> <p>2～6限</p> <p>メキシコ人がアメリカでマルちゃん商品を買って、本国に持ち帰ったことが発端なんだ。</p> <p>種類が豊富で、メキシコ人好みのチリやエビ、ライム味がある。</p> <p>メキシコではシェアが約9割。なんと学校でも売っているらしい。</p> <p>経済悪化によって外国企業が退散する中で、マルちゃんはメキシコ人をサポートし続けたそうだ。</p> <p>マルちゃんが人気になった理由とが分かった。他に人気の日本の物はあるのだろうか。</p> <p>価格は日本円だと40～60円安から買いやすいね。さまざまな種類もあるから人気なんだ。</p>	<p>主体的に課題を追究できるように、生徒の思いや考えを基に学習課題を設定する(手だて③)</p> <p>自分の関心事について自ら調整しながら追究できるように、タブレット端末を活用する場を設定する(手だて④)</p> <p>マルちゃんを通して、新たなメキシコと日本とのつながりを発見できるように、調べたことを共有する場を設定する(手だて②)</p>
	<p>マルちゃん以外にもメキシコで人気の日本の物はあるのだろうか(学習問題①)</p> <p>7～10限</p> <p>日本産の自動車が50%以上のシェアを誇っている。最も高いシェアの企業は日産だ。</p> <p>日本の食べ物はおいしく、日本料理店は増えている。すしは特に人気があるらしい。</p> <p>ドラゴンボールやドラえもんなどのアニメ、漫画が人気である。日本のゲームもある。</p> <p>ヤクルトの販売は世界5位なんだ。辛い物が胃腸が弱っているから飲まれているのではないかな。</p> <p>受け入れられている理由には、日本とメキシコの共通点やつながりがあるのではないかな。</p> <p>メキシコに進出する企業はここ10年間で3倍も増えている。</p>	<p>主体的に課題を追究できるように、生徒の思いや考えを基に学習課題を設定する(手だて③)</p> <p>自分の関心事について自ら調整しながら追究できるように、タブレット端末を活用する場を設定する(手だて④)</p> <p>メキシコで人気の日本の物を通して、新たなメキシコと日本とのつながりを発見できるように、調べたことを共有する場を設定する(手だて②)</p>
<p>メキシコで日本の物が受け入れられているのはなぜだろうか(学習問題②)</p> <p>11、12限</p> <p>人口は、メキシコが1億2700万人で、日本は1億2600万人だから近い。〈人口〉</p> <p>互いに地震が多い国であることから、震災が起こった際は互いに助け合ったそうだ。〈地形〉</p> <p>20世紀初頭に日本人が移り住み、各地で日系社会をつくり上げた過去があった。〈歴史〉</p> <p>主食は米で日本と同じだ。低緯度ではあるが、日本と気候が似ているのかもしれない。〈気候〉</p> <p>日本とメキシコは、地理的に共通点が多い。〈地理的特徴〉</p> <p>アジア以外で初の平等条約を結んでくれた恩があるから、メキシコ大使館は永田町にあるそうだ。〈交流〉</p>	<p>主体的に課題を追究できるように、生徒の思いや考えを基に学習課題を設定する(手だて③)</p> <p>自分の関心事について自ら調整しながら追究できるように、タブレット端末を活用する場を設定する(手だて④)</p>	
まとめる・広げる	<p>メキシコ人を招いて、学んだことを伝えたり、メキシコの話の聞いたりしよう</p> <p>13限</p> <p>日本のイメージは、「働き者」「勤勉」で、メキシコ人からの信頼は厚いそうだ。</p> <p>日本の食や工業製品などの物がメキシコでは広く受け入れられていることが分かった。</p> <p>400年前から交流があったり、経済協定と結んだりして、国同士の関係が深い。</p>	<p>生徒が日本とメキシコのつながりについて理解をより深めるために、メキシコ人をゲストティーチャーとして招き、交流する場を設定する(手だて①)</p>
	<p>単元の学習をまとめよう</p> <p>14限</p> <p>メキシコと日本はたくさんのつながりがあった。日本は、他の地域の国とはどんなつながりがあるのだろうか。</p>	

## 6 教材観

マルちゃん正麺は、各地のコンビニエンスストアやスーパー等に陳列されている食料品であり、生徒にとってなじみ深い。実は、このマルちゃんは世界各地の40か国で販売されている。特に、メキシコではインスタントランチという商品名で販売され、約90%のシェアを誇る大人気商品となっており、国民食と言われるほどに親しまれている。さらに、「マルちゃん」という言葉はメキシコで「すぐにできる」、「簡単にできる」という意味の言葉になっており、「議会がマルちゃんした」、「サッカーでマルちゃん作戦だ」などと使われている。このように、マルちゃんはメキシコ国民の生活に根付いている。

生徒にとって身近に感じる国とは、メディアでよく取り上げられる国、生活の中で食料品や日用品の産地となっている国などであり、例えばアメリカ合衆国、中華人民共和国、オーストラリアなどである。生徒に身近な国を挙げさせたところ、メキシコを挙げた生徒は一人もいなかった。また、生徒に、「メキシコについて知っていること」を尋ねると、「北アメリカ州にある国」、「アメリカとの国境問題を抱えている国」というくらいの認知であり、生徒は身近に感じておらず、興味・関心は比較的低い。

そこで、メキシコで展開されているマルちゃんを教材化し、日本とメキシコのつながりに着目させることで、メキシコを身近に感じ、主体的に追究していくと考える。その後、メキシコ国内でマルちゃんの他に人気の日本商品、さらに、メキシコで日本の物が受け入れられている背景について地理的に追究していくだろう。

メキシコでは、マルちゃんだけではなく、さまざまな日本の企業が進出しており、ここ10年で日本の企業数は約3倍に増えた。日本の物はメキシコ国内で増加しており、例えば自動車に関しては過半数のシェアを誇るようになった。こうした製造業から、食品、漫画、音楽、文化など多くの日本の物がメキシコで受け入れられている。その背景には、メキシコ人と日本人との共通点や地理的背景、歴史的背景など、さまざまな要因がある。よって、メキシコは生徒が主体的に追究していく上で、十分に価値がある教材であると考えられる。

### Ⅲ 研究の実践と考察

#### 1 メキシコのマルちゃんとお出合い、「調べたい」と意欲をもった生徒A

##### (手だて①の検証)

導入で「お腹が空いたのでラーメンを買ってきました」と、マルちゃんのインスタントランチを提示した。すると、生徒は「え、マルちゃん?」「何で外国語?」と驚いたようにつぶやいた。そこで「どこの国の商品かな?」と問い、実物を4人班に1つ配付した。生徒は、表紙や裏表紙を見つめ(資料1)、「アルファベットが書いてあるから英語かな」、「ここにアメリカって書いてある」など、見つけたことを班で出し合った。全体で出し合う場面では、「マルちゃんは日本の会社だけど、日本の物ではないかも」、



資料1：メキシコで販売されているマルちゃんを観察する生徒

「アメリカと書いてあるからアメリカ向けに作られた日本の商品だ」、「アルファベットは書いてあるけど、たぶん英語ではない」などの意見が出た。そこで、「英語ではないなら、何語か?」と問い返すと、生徒 A の班は再度、ラーメンの容器を観察し、「MEXICO」の文字を見つけてメキシコのも物だと分かった。

そこで、「この商品から何か分かることや気になることがあればノートに書きましょう」と発問して授業を終えた。生徒 A は以下のように授業を振り返った（資料 2）。

「日本でけっこう…行っているのかな」と、生徒 A は日本で身近なマルちゃんメキシコで販売されていること

日本でけっこう知られているマルちゃんが、どうして外国に行っているのかな、と疑問に思いました。パッケージには Japan という文字がなかったので、パクリのかなと思いました。作り方とかも日本とほぼ同じ感じがしたので、もっと疑問に思いました。なぜ、日本でよく知られているマルちゃんが外国でも売れているのかを調べてみたいと思いました。

資料 2：生徒 A の振り返り

と疑問をもったことが分かる。さらに、「なぜ、日本でよく知られているマルちゃんが外国でも売られているのかを調べてみたい」から、生徒 A はマルちゃんがメキシコで販売されている理由を知りたいと考えていることが分かる。

## 2 自らが設定した学習課題について調べた生徒 A（手だて③、手だて④の検証）

第 2 時では、メキシコで販売されているマルちゃんについて思ったことや考えたことを共有するために、仲間の振り返りを載せた座席表を配付した。

座席表を配付後、「最も調べたいことは何か」と発問し、仲間の振り返りを確認する場を設けた。生徒 A は座席表を見て、自分がもつ疑問と近い内容に印を付けた（資料 3）。生徒 A は自分がもつ疑問にこだわりをもっていると考えられる。

その後、最も調べたいことを問うと、①「なぜ、メキシコでマルちゃんが売られているのか」、②「日本のメーカーがなぜ、海外に工場を出して作っているのか」の 2 つに関心が集中したので、学級全体でこの 2 つの学習課題を調べていくことにした。そして、まずは調べたいと考える生徒が最も多かった学習課題①から調べていくことにした。生徒 A はタブレット端末で「メキシコ」、「マルちゃん」などのキーワードを

前時文庫	○日本で経銷知名度のあるメーカーが海外で売られているのはなぜか	○通かったり、過去に懸賞地だったとして僕わりがあると書いたり文化がある	○メキシコ産なのにアメリカが出ているのはなぜか	○どんな味か
生徒 A	○日本で経銷知名度のあるメーカーが海外で売られているのはなぜか	○通かったり、過去に懸賞地だったとして僕わりがあると書いたり文化がある	○メキシコ産なのにアメリカが出ているのはなぜか	○どんな味か
○日本のメーカーが海外に工場を出しているのか	○日本で経銷知名度のあるメーカーが海外で売られているのはなぜか	○通かったり、過去に懸賞地だったとして僕わりがあると書いたり文化がある	○メキシコ産なのにアメリカが出ているのはなぜか	○どんな味か
○何かの形でアメリカが関わっているのか	○日本で経銷知名度のあるメーカーが海外で売られているのはなぜか	○通かったり、過去に懸賞地だったとして僕わりがあると書いたり文化がある	○メキシコ産なのにアメリカが出ているのはなぜか	○どんな味か
○日本で有名なラーメンだが、メキシコでも売られているのは、なぜか	○日本で経銷知名度のあるメーカーが海外で売られているのはなぜか	○通かったり、過去に懸賞地だったとして僕わりがあると書いたり文化がある	○メキシコ産なのにアメリカが出ているのはなぜか	○どんな味か
○なぜ、アメリカと書いてあるのか	○日本で経銷知名度のあるメーカーが海外で売られているのはなぜか	○通かったり、過去に懸賞地だったとして僕わりがあると書いたり文化がある	○メキシコ産なのにアメリカが出ているのはなぜか	○どんな味か
○アメリカと書いてある理由	○味や包装はどう違うのか、また、同じ所は何か	○外国人に興味を持ってもらうため、その地に合った味や包装の味を売って、現地の人に買ってもらおう作意なのか	○日本のキャラクターの名前なのに、なぜメキシコで作られているのか	○1つのカップ麺を作るのに何ヶ国関わっているのか
○英語とスペイン語で分けたんはなぜか	○日本で作られて海外で売られているのか	○日本の商品が日本語じゃなくてスペイン語に書きかえて打ってあるのか	○何のアメリカなのか	○なんで日本で人気のラーメンがメキシコで販売されているのか
○日本で知られているマルちゃん正産品がなぜメキシコに行ったのか	○他にも日本の会社で外国に出ている物は何か	○アメリカはどのような意味か	○前時文庫	○前時文庫

資料 3：座席表「メキシコのマルちゃんに出合った生徒の振り返り」

「なぜ、メキシコでマルちゃんが売られているのか」の 2 つに関心が集中したので、学級全体でこの 2 つの学習課題を調べていくことにした。そして、まずは調べたいと考える生徒が最も多かった学習課題①から調べていくことにした。生徒 A はタブレット端末で「メキシコ」、「マルちゃん」などのキーワードを

打ち込み、調べていった。資料4は、生徒Aの振り返りである。

メキシコの人が休暇のお土産として、現地に持ち帰ったときに広まった、ということが書いてあってびっくりしました。値段も日本円で40～50円というすごく安い値段だったり、たくさんの種類があって、そこが人気なんだなと思いました。だけど、その安さから、びんぼうな人が食べるというイメージもついてしまい、少し残念でした。	資料4：生徒Aの振り返り
--	--------------

生徒Aは、メキシコでマルちゃんが売られている理由について、「休暇のお土産として…広まった」、「値段も…すごい安い…そこが人気」と、メキシコにマルちゃんが持ち込まれたきっかけや価格、種類に着目して見つけていることが分かる。しかし、「びんぼうな人が食べるイメージ」、「少し残念」と、メキシコのマルちゃんについて一面的な見方から捉えていることが分かる。そこで、調べて分かったことを出し合う授業を設定した。

### 3 「日本の物がもっと外国の人に受け入れられてほしい」と期待を寄せた生徒A (手だて②の検証)

第4時で、学習課題①「なぜ、メキシコでマルちゃんが売られているのか」について調べて分かったことを出し合い、仲間の考えを共有する授業を設定した(資料5)。また、資料6は生徒Aの振り返りである。

資料5 学習課題①「なぜ、メキシコでマルちゃんが売られているのか」について分かったこと		
11月18日 授業記録(一部抜粋)		
S	3	メキシコは <u>マルちゃんを国民食</u> にしている。
T	4	S3くん、国民食って何？
S	5	え、国の、よく食べる物。
S	6	<u>その国の人がみんな食べている、みんな知っている</u> みたいなの。
S	11	アメリカって書いてあるかにつながってくるけど、 <u>マルちゃんはアメリカに生産拠点を</u> 作って、そこから輸出しています。
S	22	マルちゃんには「早い」とか「すぐにできる」とかの意味があるから、議会在早く終わった時に「 <u>議会がマルちゃんした</u> 」とか言って、 <u>それくらいマルちゃんの名前が浸透</u> しています。
S	29	メキシコではえびや辛い物がとても人気らしく、 <u>えびとハバネロ</u> 味が人気らしいです。

マルちゃん以外にも、他国に進出していて知名度がたくさんある物はあるのかな、と思いました。なかなか、テレビのニュースとかでも、 <u>そんな内容は報道されていないので、マルちゃんがメキシコで売られていることにはびっくり</u> しました。日本も、他国のものを受け入れているから、 <u>日本の物が、もっと外国の人に受け入れられて</u> いってほしいです。	資料6：生徒Aの振り返り
---	--------------

資料6で生徒Aは、「そんな内容…びっくりしました」と驚いている。しかし、どんな事実が驚いたのかが不明瞭であったため、授業後に聞き取りを行った(資料7)。生徒Aは、A2の「国民食になっていること」、「メキシコでマルちゃんが売られていること」、「ハバネ

口味」、「アメリカにもマルちゃん」について驚いていた。これらは、資料5のS3「マルちゃんを国民食」、S6「その国の人みんな食べている、みんな知っている」、S11「マルちゃんはアメリカに生産拠点を作って」の発言を受けたものであろう。

また、マルちゃんがメキシコで売られている理由が分かったことで、生徒Aは、資料7のA4「他のカップラーメン」、「食べ物以外にも、服とか人気があるのかな」と、メキシコと日本のつながりについて、更に知りたいと考え始めていることが分かる。

さらに、資料5のS22「それくらいマルちゃんの名前が浸透」の発言から、マルちゃんはただ人気があるだけではなく、メキシコに浸透して深い関わりがある食であることが分かり、生徒Aは資料6の「日本の物が、もっと外国の人に受け入れられてほしいです」と、日本と世界の諸地域がより強くつながってほしいと期待を寄せていることが分かる。

#### 4 メキシコで人気の日本の物を知りたいと考えた生徒A（手だて③の検証）

学習課題②「日本のメーカーがなぜ、海外に工場を出して作っているのか」については、インターネット上の資料では内容が不十分なため、第5時でマルちゃんを販売する東洋水産株式会社から取り寄せた資料を提示し、課題を解決する場を設定した。

生徒Aは資料から、「十年目でやっと黒字に→それまでは赤字」、「取引先が苦しい状況→マルちゃんサポート→信頼ゲット」と、インターネット上の資料では捉えきれなかった事実を学習ノートに書いた（資料8）。

資料9は生徒Aの振り返りである。「日本の物で…知りたい」と、前時から抱いていた疑問にこだわりをもち、知りたいと考えていることが分かる。生徒のメキシコへの思いや考えを基に学習課題を設定し、調べ学習の場を設けたことで、さらに日本とメキシコとのつながりについて知りたいという意欲を高めていることが分かる。

資料7「なぜ、マルちゃんがメキシコで売られているのか」授業後の生徒Aへの聞き取り 11月18日		
T	1	どんなことにびっくりしたのかな。
A	2	マルちゃんが国民食になっていることとか、メキシコでマルちゃんが売られていることです。あと、日本と違ってハバネロ味があったり、アメリカにもマルちゃんがあって、人気なんだなと思いました。
T	3	そうなんだね。この授業から、何かメキシコについて知りたいことはありましたか。
A	4	他のカップラーメンも出ているのかな。メキシコはたぶん日本とは好き嫌いが違うから、食べ物以外にも、服とか人気があるのかなと思いました。

日本の物でマルちゃん以外にもメキシコに進出していて、人気がある物は何か知りたいです。日本のアニメは外国で人気があったり、大谷選手はアメリカで受け入れられたりしているから、日本の文化も様々な所で受け入れられているのではないかと思います。

資料9：生徒Aの振り返り

## 5 メキシコで人気の日本の物を追究していった生徒 A（手だて③、手だて④の検証）

第6時では、企業の資料を基にメキシコのマルちゃんについて学び、生徒が抱いた思いや考えを共有するために、仲間の振り返り載せた座席表を配付した。

配付後、気になる仲間の考えに印を付けさせた。その集計結果を更に座席表に載せ、生徒に配付した（資料10）。資料10の名前の右側に記載されている数字は、印を付けた生徒の人数である。印が多かった

考えは、「マルちゃん以外にもメキシコに進出していて知名度がある物はあるのか」（生徒Aの考え）、「メキシコで人気のある日本の食べ物はあるのか」、「メキシコには、マルちゃん以外にも日本がきっかけの人気のある物はあるのか」であったため、これらの考えに共通する「メキシコで人気の日本の物は何か」を学習問題①として、学級全体で追究していくことにした。

生徒Aはタブレット端末を活用してこの問題について調べ、学習ノートにまとめていった（資料11）。その後、生徒Aはタブレット端末で「メキシコで人気の日本の物」などのキーワードを打ち込み、「人気の日本のお菓子」、「パソコン」、「サッポロビール」など電化製品や飲食物に着目して見つけることができた。

## 6 日本とメキシコのつながりの背景について疑問をもった生徒 A（手だて②の検証）

第9時では、メキシコで人気の日本の物について共有するために、追究したことを出し合う授業を設定した。生徒からは、「日本の子どもが好きなお菓子」、「日本のアニメ」、「和柄の箸」、「ゲーム」、「日本で人気のいろいろなアーティストのCD」など、生徒Aが見つけることができなかつた事実が多く発表された。生徒A

黒板			
3	メキシコ人好みの味にしているが、日本人に合う食べ物を食べたかどうか	安さや言語表記以外にも、外国で売られるための工夫はまだあるのか	どのような課程でラーメンを改良していたのか。改良によって、さらに親しまれたと思う
3	マルちゃんをどこのメーカーだと思っているのか。なぜマルちゃんだけが国民食になったのか。他にもラーメンはあるはずなのに	マルちゃんをどこのメーカーだと思っているのか。なぜマルちゃんだけが国民食になったのか。他にもラーメンはあるはずなのに	ハバネロは辛いのに、なぜメキシコ人は好むのか。また、どんな感じでアレンジしているのか
5	他の国ではどのくらい売れているのか。様々な国でも人気があるのか	マルちゃん以外にもメキシコに売出している知名度がある物はあるのか	なぜマルちゃん以外のカップ麺はあまり売られていないのか。生産拠点がメキシコではなくアメリカなのはなぜか
1	健康に悪いやプラスチックが入っているとされているメキシコ人もいれば、農薬だとされている人もいるのはなぜか	NAFTAの見直しについて、マルちゃんを作っている企業はどうするのか	なぜマルちゃんはメキシコに工場を置かないのか。メキシコに工場を置けばもっと早く置く
2	なぜメキシコ人はマルちゃんを日本のメーカーだと知らないのか。体に悪いのであれば、作り方や販路を変えてもよいのでは	マルちゃんはどのように広まってきたのか。メキシコの人にはどのくらい知られているのか	味の好みはメキシコ人に合わせてあるのか。輸入には、NAFTAが関係しているのか。国民食なのに日本のメーカーと知られていない不思議
2	メキシコ人は日本人と比べてさっかちで面倒くさがりなのか。また、メキシコでは50円だが日本で高い物が多いのはなぜか	ハバネロの辛さが気になる。メキシコ人にとってマルちゃんはどういう存在なのか	メキシコ人は日本人と比べてさっかちで面倒くさがりなのか。また、メキシコでは50円だが日本で高い物が多いのはなぜか
3	他の国でもマルちゃんが国民食になっている国はあるのか。他にも、その国特有の味のカップ麺があるのか	何がそこまでメキシコ人たちに引きつけたのか。健康のためによくないのだから、他の物を食べた方が自分のためなのでは	メキシコでも人気のある日本の食べ物はあるのか。人気が出ている物はその国で人気な食べ物に味が似ているのか
1	マルちゃんが盛上りしたら買わない人は出てくるのか	なぜ日本のマルちゃんはメキシコ人好みにここまで変えられる商品を作ることができたのか	メキシコには、マルちゃん以外にも日本がきっかけの人気のある物はあるのか
1	とても安いのが、体に悪く傷分なども多いことが分かった	なぜ、そこまで安く売っているのか。また、体に悪いのに安い、簡単という理由だけで1で食べるのか	マルちゃんは違う国にも輸出しているのか
資料10: 座席表「メキシコでマルちゃんが売られている理由を学んだ生徒の振り返り」			

資料11: 生徒Aの学習ノート

人気の日本のお菓子

- 第1位: 和菓子系 (和菓子, 和菓子)
- 第2位: 和菓子系 (和菓子系)
- 第3位: 和菓子系 (和菓子系)

人気の日本のお菓子

- 和菓子系 (和菓子系)
- 和菓子系 (和菓子系)
- 和菓子系 (和菓子系)

パソコン

サッポロビール

はそれらを学習ノートに書きまとめていった（資料 12）。追究したことを出し合うことで、生徒 A はメキシコで人気の日本の物について、より多くの事実を知ることができた。

資料 13「メキシコで人気の日本の物は何か」を発表して 考えたこと 11月 25日 授業記録（一部抜粋）		
T	39	黒板に書かれたメキシコで人気のある日本の物を見て、どう思う？
S	40	日本でも親しまれている物が、世界でも広まっていることが分かりました。
A	41	S40 くん に似てて、日本でもよく使われていたりする物が、メキシコでも人気なんだなあと思いました。
S	46	日本の物が人気なのは、イメージや品質がいいからなのかな？
S	47	やっぱ、見た目かなあと思いました。
S	48	品質のことと、そもそも売っている日本がある程度信頼して大丈夫だって外国が思っているから、日本の商品は売れているのだと思います。

追究したことを

出し合った後に、T39「黒板に書かれたメキシコで人気のある日本の物を見て、どう思う？」と問いかけた（資料 13）。すると、生徒 A は、A41「日本でもよく使われたりする物がメキシコでも人気」と発言した。これは、授業での生徒の発言「日本の子どもが好きなお菓子」、「日本で人気のいろんなアーティストの CD」を受けて、生徒 A は日本人とメキシコ人には、好みの味や価値観などの共通点があると考えたのだろう。その後は、A41 の発言を受けて、S46「イメージや品質」、S47「見た目」、S48「そもそも…外国が思っている」と、日本の物が人気である事実について、生徒は共通した何らかの理由があるのだと考え始めるようになった。

資料 14 は生徒 A の振り返りである。メキシコで日本の物が人気である理由について、「日本への信頼度が高まったのかな」と書いた。これは、資料 13 の S48 の発言「そもそも売って…思っている」を受けて、「信頼」というキーワードに着目して予想したのだと考えられる。一方で、「何らかの理由で」とも書いていることから、日本の物が多く受け入れられている理由が「信頼」なのかどうかは、生徒 A 自身、不明確であることが分かる。

<p>マルちゃんが売れた理由で、取引先が厳しい時に東洋水産がサポートしたことで信頼を獲得して、日本への信頼度も高まったのかなと思いました。何らかの理由で日本の製品などが人気になっていたのかなと思ったので調べてみたいと思いました。</p>
--

資料 14：生徒 A の振り返り

### 7 日本がメキシコで受け入れられている理由について、メキシコと日本の信頼に着目して追究した生徒 A（手だて③、手だて④の検証）

第 9 時の振り返りには、多くの生徒が、メキシコで日本の物が人気であることに疑問をもったり、その疑問について予想を立てたりしていた。そこで、第 10 時では、仲間の思いや考えを共有するために、振り返りを載せた座席表を配付した（資料 15）。生徒が座席表を確認した後、「なぜ、メキシコでは日本の物が受け入れられているのか」を学級全体で取り組む学習問題②として追究していくことにした。この課題について、生徒 A は資料 16

のように予想を立てた。

生徒 A は「メキシコと日本は信頼し合っていて、よい関係を作っているから」、「昔、メキシコと日本は条約を結んでいて」と書いた。これは、生徒 A が座席表を確認し、仲間の振り返り（資料 15 の四角部分）

「幕末に唯一、平等条約を結んだのがメキシコだから、日本と関係が深いと思

った」を受けて、信頼し合っている理由の一つは条約であると予想したと考えられる。また、生徒 A は、予想を調べる手段の一つに、「メキシコ人に聞く」を挙げた。その後、生徒 A はタブレット端末で「メキシコと日本の条約」などの

キーワードを入力し、メキシコと日本の信頼関係について追究していった。資料 17 は生徒 A が追究して分かったことをまとめた学習ノートである。生徒 A は「金星の…築かれる」、「日墨修好通商条約」、「アジア以外の国との初の平等条約」と書き、条約が結ばれた経緯や条約名、条約の内容についてまとめた。

資料 18 は生徒 A の振り返りである。追究を経て、生徒 A は「数々の不平等条約を結んでいて、かなり

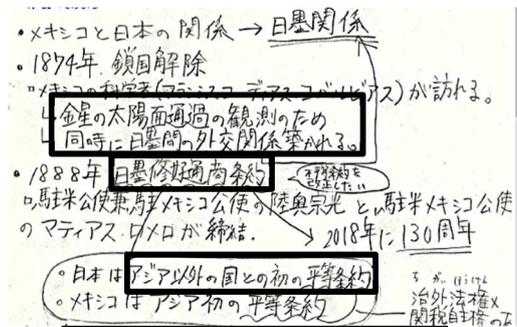
厳しい状況だった」と、日本は欧米諸国と対等な関係を築けず、不利な立場であったことを突き止めた。その状況の中で、平等条約を結んだメキシコと日本について「もうすでに信頼感は少しあったのかな」と考えをもつようになった。

質がよくて、価格が安く売られている。見た目がいいのもあって、信頼がある	日本人とメキシコ人では好むものが少し似ているのか。昔の歴史をたどれば共通点と関係が見つかるかもしれない	新しい文化を受け入れてもらえるようになるために、どれくらい時間がかったのを知りたい	メキシコの製品はどれだけ品質がいいのか。メキシコ人は日本の物に興味を示したから買ってくれたと思う。	日本の物が人気の理由は、昔から輸入・輸出などをメキシコとしてきたから今の関係があるのか
他の国ではどのくらい売れているのか。様々な国でも人気があるのかを知りたい	マルちゃんがきっかけで信頼を獲得して、それ以来から日本への信頼感が上がったのか。	いつから、なぜ日本の物が品質が良かったのか。輸出入でできた関係なのか。お互いが求めている物を作っているのか	どのようにして信頼関係を築いていったのか。輸出入でできた関係なのか。お互いが求めている物を作っているのか	メキシコ人の文化などの好みと、日本人の共通点や相違点を調べていきたい
これだけ日本の物が、メキシコで売られている、日本としてすごく嬉しい	メキシコと日本の関係や、日本の品質はなぜよいかと思いたまきかけなどが分からないので調べてみたい	日本にしかない物、文化をメキシコ人が気に入ったのか。そんなメキシコと日本の関係について調べてみたい	メキシコ人は値段が高いブリなどを買うのか	なぜメキシコが日本を信頼しているのか。ペソが暴落している中で、メキシコにずっといたのかな
幕末に唯一、平等条約を結んだのがメキシコだから、日本と関係が深いと思	人気なのは品質がいいだけではなく、信頼関係があるから。アニメグッズは日本で作られた物なのか、他の国で作られたものなのか	どういふふうにメキシコが日本を信頼するようになったのか。そして、日本の物がメキシコで人気なら逆もあるのか	「日本」という言葉に引き付けられて買っているのか。品質や見た目を大事にすることがメキシコ人を受けたのでは	お菓子やアニメがどのように知られてメキシコで売られているのか
幅広いものがメキシコで好まれているのは、いいなと思った	ゲームやまんが、音楽など日本物の物がメキシコに伝わっているのか	買ってくれるのは信頼があるからなのか。メキシコから見て、日本はどのようなイメージか（どう思	人気のある商品はいい以外にも、見た目が気があるのか。日本が何かのミスをしたら信頼が薄くなって買	メキシコと日本が信頼し合っているから買ってくれるのか。メキシコがピンチの時に日本が助けてくれたら、たくさん買うのか
ブリとか高い物は別にメキシコとそんなに品質は変わらないと思う。メキシコの方が新鮮	思ったより日本の物が多くてびっくりした			

資料 15: 座席表「メキシコで人気の日本の物を出し合った生徒の振り返り」

メキシコと日本は信頼し合っていて、よい関係を作っているからだと考えて、理由は昔、メキシコと日本は条約を結んでいて、昔から仲がよいイメージだから、今でも仲がよく、日に日に信頼関係が高まっていると思ったからです。

資料 16: 「なぜ、メキシコで日本の物は受け入れられているのか」についての生徒 A の予想



資料 17: 生徒 A の学習ノート

日本は当時、数々の不平等条約を結んでいて、かなり厳しい状況だったから、日本が鎖国したときにも交流があったメキシコに目を向けて、逆にメキシコは東アジアとの交流のため、日本や清国と条約を結びたかったから、この当時、もうすでに信頼感は少しあったのかなと思いました。日本とメキシコは平等条約を結んで、今まで仲良くして

資料 18: 生徒 A の振り返り

## 8 ゲストティーチャーに出会い、メキシコをさらに知りたいと考えた生徒 A

### (手だて①の検証)

生徒 A がメキシコ人に話を聞きたいと考えたため、第 13 時では、メキシコ人のゲストティーチャーを招いて生徒が追究したことを聞いての講評と質疑応答、メキシコの実際についての話をしてもらう場を設定した。

最初に、生徒が追究したことを発表する場を設けた。次に、生徒の発表について講評をいただいた。ゲストティーチャーは、メキシコでマルちゃんを受け入れられた理由や、日本とメキシコのつながり、「日本人は真面目で働き者」と、メキシコ人が抱く日本人へのイメージについて話した。

その後、メキシコについての質疑応答の場を設けた（資料 19）。生徒 A は、A1「日本のイメージについて知りたいです」と、発言した。これは、ゲストティーチャーからの、メ

キシコ人が抱く日本人へのイメージについての話を受け、メキシコ人が日本人のことをどう思っているのか、関心をより高めたのであろう。さらに、生徒 A は A17「メキシコでは、寿司屋とか…」と、再度質問した。メキシコ人のゲストティーチャーを招いてメキシコの実際について話を聞いたことで、メキシコと日本のつながりについて、更に知りたいと考えたのであろう。

また、S3「メキシコ人 100 人に、日本を知

資料 19 ゲストティーチャーへの質疑応答 12月8日 授業記録（一部抜粋）		
A	1	メキシコの人たちから見た日本のイメージについて知りたいです。
GT	2	例えば私の両親は、日本人を見たら「あ、この人はお金持ち」。この人は家の中にロボットがある、というイメージをもちます。
S	3	メキシコ人 100 人に、「日本を知っていますか」と聞いたら、何人くらい知っていますか。
GT	4	100%。たぶん韓国は分からないけど。日本は100%。
S	7	日本に来て、文化などの違いでびっくりしたことは何ですか。
GT	8	それはいっぱい。一番びっくりしたのは、ソーシャルディスタンスがあるのですが、心の距離も離れている。メキシコで家族でおはようのときはハグ、キスをしますが、日本ではしないね。離れている感じ。
S	9	日本とメキシコで違っている物ってありますか。
GT	10	全部だね。日本の交通はめちゃいいです。バスも電車も時間通りに来ます。でも、メキシコは時間決まっています。そこに立って、来たものに乗ります。次に来る時間はわかりません。
A	17	メキシコに寿司屋とか蕎麦屋とか日本食のお店はあるのですか。
GT	18	いっぱいあるけど、ほとんど日本と同じ物ではないかな。例えば、お寿司はチーズ、アボカド入れます。本物のお寿司は好きじゃないかな。生魚はあまり食べないかな。

っていますかと聞いたら、何人くらい知っていますか」は、A1「日本人のイメージ」について、GT2「日本人は…金持ち…ロボットがある」と聞いて、メキシコ人は日本人に裕福なイメージをもっていることを知ったことから、日本の知名度は高いのではないかと予想して聞いたのであろう。その後の S7「文化などの違いでびっくりしたことは何ですか」、

S9「日本とメキシコで違っている物ってありますか」の質問については、学習問題②について追究する中で、日本とメキシコの共通点などのつながりを学習してきたため、相違点についても知りたいという思いを強めたのだと考えられる。

#### IV 研究の成果と今後の課題

##### 1 成果

資料 20 は、生徒 A の単元のまとめである。

私は、単元開始前はメキシコのことあまり知りませんでした。日本とメキシコはそもそも全く関係が深くない国同士だと思っていたので、今回の単元をやってみびっくりしました。まず、日本との共通点に驚きました。メキシコは日本と同じで、マルちゃんを食べるということです。メキシコ人が日本のマルちゃんを好んで食べるには理由がありました。それは、メキシコ人好みの味にアレンジしたことです。そこから人気が出て、今では国民食になりました。マルちゃん以外にも人気な物がありました。それは電化製品や文房具です。なぜ、ここまで日本とのつながりがあるかという、それは昔から仲がよかったからです。当時、日本は数々の不平等条約を結んでいました。そこで、平等条約を結びたいと日本は考え、ある国に目を向けました。それがメキシコです。1888年に日墨修好通商条約を結ばれました。今となっては130年以上昔のことですが、年を重ねるごとに信頼感も上がり続けているそうです。なので、日本の物がメキシコで受け入れられているのは、古くから交流があって信頼関係ができているという理由がありました。何気なく使っている物がメキシコや様々な国から受け入れられていることにびっくりしたし、他にも日本のよい所はどこかということ調べてみたいと思いました。

資料 20：生徒 A の単元を終えての振り返り

生徒 A は、単元の学習前は「メキシコのこと…思っていた」と、メキシコと日本とのつながりを知らず、生徒 A にとってメキシコは身近に感じるできない国であった。そんな生徒 A が、メキシコについての学習を経て「単元をやってみびっくり」と驚きを感じた。それは「日本と同じで、マルちゃんを食べる」という「日本との共通点」があり、味を「メキシコ人好みにアレンジ」するなどの工夫を経て「国民食」になったことを、追究することで明らかにしていったからだと分かる。その後、メキシコで人気の日本の物を知りたいと考えた生徒 A は、追究によって「電化製品や文房具」などを見つけた。さらに、メキシコで日本の物が受け入れられていることに疑問をもち、追究することで「日墨修好通商条約」が結ばれた事実を知り、「古くから交流があって信頼関係」を築いていったからだと理解することができた。生徒 A の思いや考えを基に学習課題や学習問題を設定し、追究の場を設けることで、つながりを知らず、身近に感じられなかったメキシコが、実は日本とつながっていたことを明らかにした。この学びは、生徒 A にとって驚くほどのものであったことが分かる。

生徒 A は最後に、「他にも日本のよい所はどこかということ調べてみたい」と書いた。これは、メキシコでマルちゃんが人気である理由、人気の日本の物、そして日本の物が受け入れられている理由について追究していく中で日本のよさに触れたことで、さらに知り

たいと考え、自ら新たな課題をもったことが分かる。

仮説の検証は次のようである。

(1) 仮説 1 に対する手だて①について

Ⅲ 1、8 で示したように、現地の物や現地の人などの本物と出会う場を設定したことで、生徒 A は世界の諸地域を身近に感じ、メキシコと日本のつながりについて主体的に追究することができた。これは、生徒 A がメキシコのマルちゃんとの出会い、資料 2 「なぜ、日本でよく知られているマルちゃんが外国でも売られているのかを調べてみたい」等と記述したことから推察できる。また、メキシコ人のゲストティーチャーと出会う場を設定したことで、生徒 A は資料 19 の A1 「日本のイメージについて知りたいです」、A17 「寿司屋とか…」と質問し、主体的に課題を追究することができた。以上のことから、手だて①は有効であったと考えられる。

(2) 仮説 1 に対する手だて②について

Ⅲ 3、6 で示したように、メキシコと日本とのつながりを見つける場を設定したことで、生徒 A は世界の諸地域を身近に感じ、メキシコと日本のつながりについて主体的に追究することができた。これは、追究したことを出し合い、資料 7 「他のカップラーメン」、「食べ物以外にも、服とか人気があるのかな」と資料 14 「日本への信頼度が高まったのかな」、「何らかの理由で」と記述したことから推察できる。以上のことから、手だて②は有効であったと考えられる。

(3) 仮説 2 に対する手だて③について

Ⅲ 2、4、5、7 で示したように、振り返りをまとめた座席表から学習課題や学習問題を設定することで、生徒 A は主体的に追究することができた。以上のことから、手だて③は有効であったと考えられる。

(4) 仮説 2 に対する手だて④について

Ⅱ 2、5、7 で示したように、タブレット端末を活用することで、生徒 A は自らの学びを調整しながら追究することができた。これは、タブレット端末に「メキシコ」、「マルちゃん」、「メキシコで人気の日本の物」、「メキシコと日本の条約」と、学習課題や学習問題を解決するためのキーワードを自ら考えて入力し、追究していったことから推察できる。以上のことから、手だて④は有効であったと考えられる。

## 2 課題

○座席表に載せた生徒の振り返りを基に、生徒とともに学習課題や学習問題を設定することで、生徒は主体的に追究していくことができた。今後は、ICT 等を活用して、仲間の思いや考えを共有できるようにしていきたい。

○生徒 A は、単元のまとめに「他にも日本のよい所はどこかということ調べてみたい」と書いた。第二学年の地理「日本の諸地域」の学習でも、生徒の振り返りを基に、日本のよさ等の地理的特色を主体的に追究できるような授業を展開していきたい。